

コロナ緊急事態宣言解除を受けて

緊急事態宣言がようやく解除され、学校生活も少しずつ平常に戻りつつあります。本校でも教育実習や介護等体験で大勢の大学生が実習に来られています。また、本職の落語家さんが来校されたり、外国人講師による国際理解・異文化理解を深めたりと、外部からいろいろな人々が学校を訪問される機会も増えてきました。また、修学旅行や校外学習も実施され、児童・生徒は楽しいひと時を過ごしました。今日はそんなお話をしたいと思います。

高等部修学旅行 ～ ユニバ、吉本、ハーベスト～



1日目はハーベストの丘で自然に親しみました。



2日目はユニバでアトラクションを満喫

高等部3年生は、10月31日～11月2日まで2泊3日のスケジュールで修学旅行に出かけました。1日目は堺市の泉北丘陵にある農業公園「ハーベストの丘」に行き、コスモス畑前で写真を撮ったり、ゴーカートや草滑りを楽しみました。2日目はユニバーサルスタジオ JAPAN に行きました。早朝から夕方まで、めいっぱいアトラクションを楽しみました。マリオワールドや鬼滅の刃など今年オープンしたてのアトラクションにも挑戦しました。3日目はなんばグランド花月で漫才や落語、新喜劇を楽しみました。西川きよし師匠が「大阪府立摂津支援学校の皆さん！来てくれてありがとう！」と紹介してくれ、生徒たちは大喜びでした。

中学部 伝統文化に触れる学習



中学部では公益財団法人山本能楽堂さんのご協力を得て、プロの落語家である 桂ちょうばさん・月亭遊真さんが来校しました。生徒たちも舞台のうえで「焼きいも」を食べるしぐさを演じたり、自分で考えた小噺や「寿限無」を披露したり、大いに盛り上がりました。最後に月亭遊真さんは「犬の目」、桂ちょうばさんは「たぬ賽（さい）」の噺をしてくださいました。さすがプロ！話芸に引き込まれた生徒たちです。

T ネット＝外国人講師による国際理解・異文化理解学習

大阪府教育庁の事業として英会話学校と年間契約を結び、定期的に外国人講師を学校に派遣していただいています。本校ではだいたい月に1回のペースで来られています。10月は、外国のハロウィーンの様子などを学びました。生徒が「日本ではハロウィーンの際はキャンディーをもらう！」というと「私の国ではマネーもらえます！」「え～～いいなあ」と会話も弾んでいました。

